

2025（令和7）年度事業計画

I. 法人の使命と事業

I - 1. 宇都宮まちづくり市民工房の使命

宇都宮市の市民活動活性化に関する事業、および行政、営利団体、市民活動団体がそれぞれの特性を活かして協働するための事業を行い、「市民の手による、市民のためのまちづくりの実現」に寄与することを目的とします。

II. 2025（令和7）年度事業計画

赤下線は検討中

<p>II - 1. コミュニティ 活性化事業の支援 定款⑤</p>	<p>1) 中山間地交流プロジェクト (1) 塩原里山整備事業 (2) 横川清水原の耕作放棄地の活用 ほか</p>
<p>II - 2. 市民活動の人材 育成 定款⑥</p>	<p>1) 非営利活動団体（NPO）の組織基盤強化 (1) <u>NPO 法人事務力アップセミナー／</u> <u>NPO 法人事務力検定初級</u> (2) とちぎ地域女性活躍実践塾（とちぎ男女共同参画センター） (3) シルバー大学校「福祉学科自主研究」担当</p> <p>2) NPO 組織の実務向上事業 (1) <u>IT 活用に関する相談および実践に向けての</u> <u>入門・基礎講座</u></p> <p>3) NPO への伴走支援 (1) <u>地域における孤独・孤立対策に関する NPO 等の</u> <u>取り組みモデル調査（内閣府）：応募予定</u></p>

Ⅱ－１． コミュニティ活性化事業の支援 （定款⑤）

Ⅱ－１－１）中山間地交流プロジェクト

（１）塩原里山整備事業

<事業の対象とねらい>

- ・対 象：里山保全の必要性に関心のある市民・企業
- ・ねらい：①中山間地の現状を現場で把握し、整備事業に関わる意義を理解してもらう
②現場で活動する団体への支援に結び付ける

<実施内容>

１．里山整備の活動

昨年度同様、自主事業として、一社）青空プロジェクトTHE DAYの活動支援を行う
（頻度：月１回程度）。

課題：交通費、ボランティア保険料、消耗品費等の資金源確保

（２）横川清水原の耕作放棄地の活用

従来の日光市三依交流プロジェクトは２００７年１２月にスタートして１９年目

<事業の対象とねらい>

- ・対 象：自然と共存した暮らしや農業に関心のある都市部住民および中山間地の住民
- ・ねらい：里山整備や農作業を通して、自然環境保護の大切さ、野生動物との共生などについて学び、さらに都市部におけるコミュニティのあり方を考える。

<事業内容>

横川地区の農場１カ所（清水原農場）をお借りして、月２～３回の現地での活動を通して生育確認と電気柵の維持管理をする。

課題：事業継続について自治会長と意見交換

Ⅱ－２． 市民活動の人材育成 （定款⑥）

Ⅱ－２－１）非営利活動団体（NPO）の組織基盤強化

地域社会で今後ますます必要性が高まる共助の仕組みを広げるためには、その担い手として期待される非営利活動団体（NPO）の組織基盤を強化する必要がある。

（１）NPO 事務力アップセミナー／NPO 事務力検定初級

：隔年開催のため２０２５年度開催は要検討

<事業の対象とねらい>

- ・対 象：NPO 法人の事務担当者
- ・ねらい：NPO 法人の組織運営に携わる者が、必要な事務手続きの全体像とその詳細を正確に把握し事務能力を向上させることを目的とする

<事業内容>

法人事務に必要な事務力を身に付ける NPO 法人事務力アップセミナー開催する。併せて受講生の希望者を対象に、その習熟度をチェックする NPO 法人事務力検定初級〈入門手続編〉も実施する。

- ▶ 回 数：1 回 全国 NPO 事務支援カンファレンス主催事業における栃木会場を担当する
- ▶ 時 期：10、1、2月のいずれか
- ▶ 場 所：宇都宮市内 オンラインセミナーの会場視聴ができる場所
- ▶ 定 員：10名程度
- ▶ 対 象：主に NPO 法人の事務担当者

(2) とちぎ地域女性活躍実践塾 とちぎ男女共同参画センター委託事業150万円
昨年に引き続き、県内で活躍する「とちぎ地域女性団体」への伴走支援を行う。

<事業の対象とねらい>

- ・ 対 象：栃木県内で活躍する「とちぎ地域女性団体」
- ・ ねらい：伴走支援による団体の基盤強化と活動実施および助成金交付による財政支援

<事業内容>

事業内容は、1.実践団体の募集・選考、2.全体研修会開催、3.実践事業の伴走支援、4.活動成果報告会開催、5.助成金交付、である。

- ▶ 募集開始：4月25日募集開始、6月初旬実践団体決定
- ▶ 全体研修会：6月21日（土）
- ▶ 中間報告会：12月予定
- ▶ 活動実績報告会：2026年2月28日（土）

(3) シルバー大学校「福祉学科自主研究講師」（30万円）

シルバー大学校中央校2年時の「福祉学科自主研究」の講師を担当

Ⅱ－2－2）NPO 組織の実務向上事業

(1) IT 活用に関する相談および実践に向けての入門・基礎講座：

- ・ 会計ソフト講座は、まちぴあとの共催で実施
- ・ 地縁組織対象のスマホ教室は2024年度「孤独・孤立解消事業」で実施
2025年度の実施については要検討

<事業の対象とねらい>

- ・ 対 象：非営利活動団体スタッフ
- ・ ねらい：IT 活用、会計ソフト活用に関心がある、または実現したいと考えている非営利

組織を対象に、オンライン会議や SNS 活用の実例、会計ソフトの使い方講座など行い、組織運営へのフィードバックを目指す。

<事業内容>

組織の状況に合わせた IT 活用（Zoom、LINE 等の活用など）の提案、会計ソフトの活用方法の入門・基礎講座の開催、を行う。